

離床センサーシステム

EPS

Eye&Person&System

ご導入施設

インタビュー

Vol.3



所在地 〒839-0252
福岡県柳川市大和町栄220-2
TEL 0944-76-5555(代表)
FAX 0944-76-5566

社会福祉法人 敬和苑 様へ

インタビューしました

ご施設紹介

社会福祉法人やまと医正会様は平成7年12月に法人設立後、特別養護老人ホーム敬和苑が平成9年2月に開所されました。

平成11年12月に現在の中村理事長様をご就任され、平成17年4月有限会社大和福祉有料老人ホーム勝雄開所、同9月特別養護老人ホームみづま敬和苑開所、平成22年4月養護老人ホーム柳光園を柳川市より移譲、平成23年10月特別養護老人ホーム第二敬和苑開所、平成28年10月地域密着型特別養護老人ホーム第二みづま敬和苑開所と地域の超高齢化社会の課題に積極的に取り組まれています。

この度、株式会社イムズ製の離床センサーEPSシステムを社会福祉法人敬和苑様へ導入するにあたって、ご検討された内容を介護福祉士の西田陽様へインタビュー致しました。



the Voice
スタッフの声



課長補佐 西田陽さま

当施設は、50名の利用定員で、2人部屋3室、4人部屋11室があり、要介護3～5と認定された要介護者で、日常生活全般にわたって常時介護を必要とする高齢者の方を対象にしています。

以前より夜間に部屋を出られる方がおられ、転倒等の事故防止にベッド枠等に鈴を付けるなどの工夫をしてきましたが、対応に限界があり、離床センサーを検討することになりました。

当初、病院や介護施設でよく使用されているマットセンサーや赤外線センサーを検討しようと思っていた矢先に、人の体温を感知する新しい原理の離床センサーがあることを知り、メーカーにデモンストレーションをお願いしました。使用できそうな感じを受けましたので、センサーの貸出をしてもらい、対象者のベッドに2週間ほど設置しました。対象者がベッド上で起き上がろうとする時にセンサーが感知し、控室にいる介護士が持っている受信機のブザーが鳴るため、対象者がベッドから降りる前に訪室することができました。また体温を感知するため、布団やカーテン等での誤検知がないのも選定した理由です。

イムズ社のEPS離床センサーシステムはナースコールにも接続できるのですが、今回はナースコールに接続せず、EPS離床センサー専用送受信機を利用しています。対象者の離床の動きを早い段階で検知できることにより、対象者の安全確保と共に介護部門の負担軽減、業務効率向上にもつながりました。

● 施設での設置状況

使用機種: 離床センサーEPSシステム、専用送受信機セット
使用施設: 特別養護老人ホーム 夜間離床確認



ベッド枠への設置

EPSセンサー



ベッド下への設置

EPS専用送信機



介護士控室

EPS専用受信機

送信機と受信機が100メートル以上離れていてもセンサーからの信号をキャッチします。

今後、使用状況をさらに検証し効果を見極めた後、系列の施設でのご導入もご検討いただくことになっております。



製品のお問合せ先



株式会社 イムズ
鹿児島県鹿児島市武岡1-17-1
福岡県福岡市早良区4-13-7-202
<http://www.imsys.co.jp>

TEL 099-296-8817

FAX 099-283-5801

E-Mail eps-info@imsys.co.jp